

MICRO CADAM Helix Webセミナー

メニュー・バー操作解説 [カスタマイズ] 編 Part2

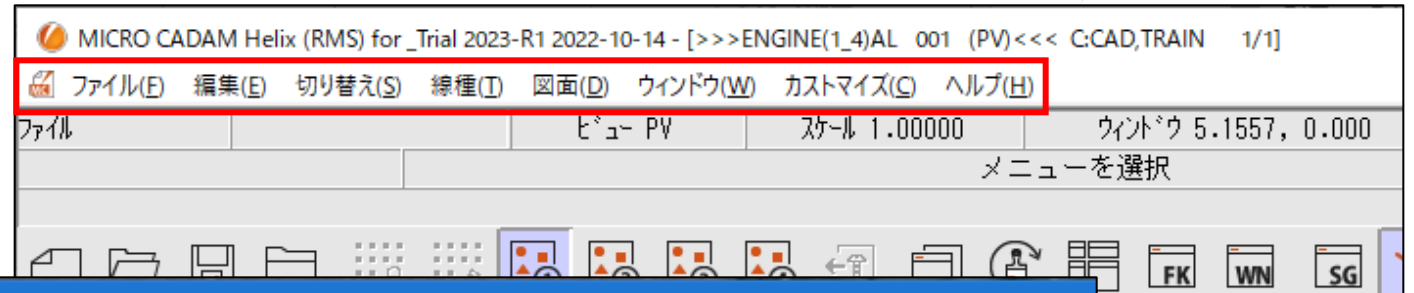
株式会社CAD SOLUTIONS
営業本部

はじめに

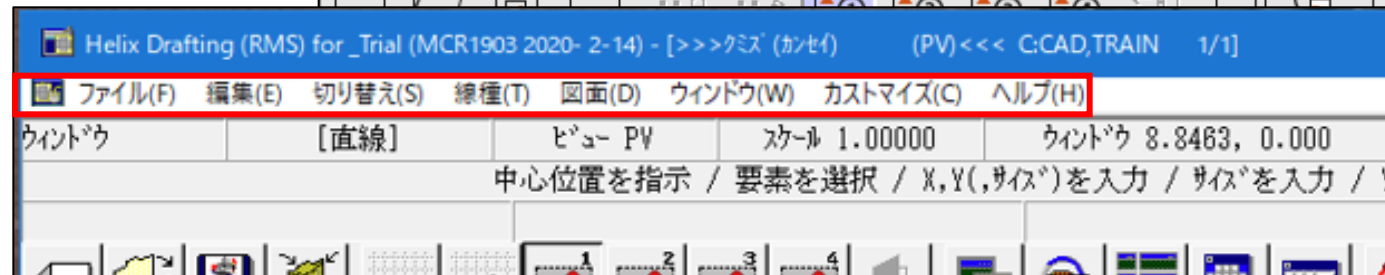
- メニュー・バーとは、ファンクション/メニューの機能を補完するためにMC V3以降に追加されたツールセットで、これまでに多くの機能拡張を行ってきました。

バージョン別のメニュー・バー表示

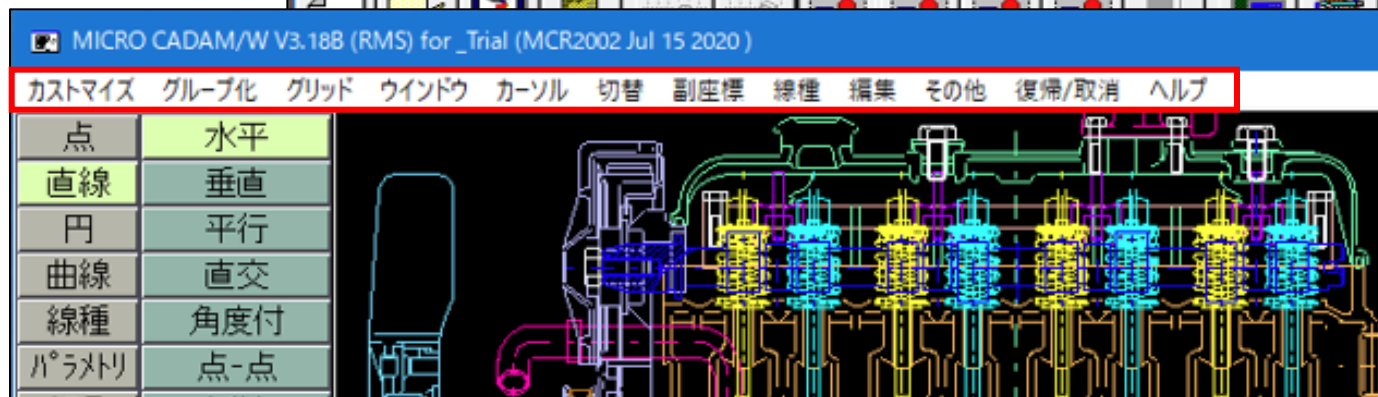
MC Helix 20xx



MC Helix V4



MC V3





新規作成(S)
 呼び出し(A)...
 上書き保存(V) / DXFファイルの上書き(Y) ★
 名前を付けて保存(E)... / DXFファイルの別名保存(E)... ★
 すべて保存(L)
 閉じる(C)
 すべて閉じる(O)
 カプセル化図面呼び出し(P)...
 画面印刷(E)
 印刷の設定(T)...
 印刷(I)
 簡易出力(Y)...
 PDF形式で保存(B) ★
 DXF形式変換(M) ▶ MC->DXF変換(L) ★
 DXF->MC変換(N)
 ログオフ(G)
 終了(X)

★印の付いた機能を使用するには、ライセンスが必要です。

図形複写(ビットマップ)(B) ▶ クリップボード(カラー)(C)...
 クリップボード(モノ)(L)...
 ファイル(カラー)(F)...
 ファイル(モノ)(M)...
 図形複写(メタファイル)(M) ▶ クリップボード(カラー)(C)...
 クリップボード(モノ)(L)...
 ファイル(カラー)(F)...
 ファイル(モノ)(M)...
 注記貼り付け(N)
 元に戻す(D)
 やり直す(R)
 テキストを元に戻す(U) Ctrl+Z
 切り取り(T) Ctrl+X
 コピー(C) Ctrl+C
 貼り付け(P) Ctrl+V
 削除(E) 削除
 文字列の検索(S)...
 図形の検索(A)...
 ハイパーリンク(H)...
 オブジェクト(O)...
 リンク(L)...

グリッド・ロック(G)
 グリッド表示(S)
 グループ1組(1)...
 グループ2組(2)...
 グループ3組(3)...
 グループ4組(4)...
 部品(E) ▶ 階層(T)...
 トップ(T)...
 親(U)
 子(D)
 前(P)
 解除(E)
 解除確認(C)
 子図(D)...
 ビュー(V)
 非現行ビュー色(N) ▶ 設定(S)
 解除(C)
 オーバーレイ(O)
 副座標(B)...
 レイヤー(Y)...
 オーバーレイ・レイヤー(L)
 グローバル変形(B)
 文字コード(C) ▶ 自動(A)...
 日本語(J)...
 中国語(C)
 台湾語(T)
 韓国語(K)
 ラテン文字1(L)
 ラテン文字2(2)
 キリル文字(Y)

線種1(1)...
 線種2(2)...
 ペン(P)...
 カラー(C)...
 無指定色(D)
 システム・カラー(S)...
 線幅(W)...
 線幅解除(O)
 継承モード(M)...



- ウィンドウ複写(W)
- 子図ウィンドウを開じる(O)
- 状態保存(S)
- 状態復元(L)
- 自動状態保存(U)
- 再表示(P)
- 図面の再表示(D)
- 全図面の再表示(A)
- 重複表示(S)
- 重複要素の確認(O)
- 表示範囲の変更(R)...
- 拡大表示(Z)...

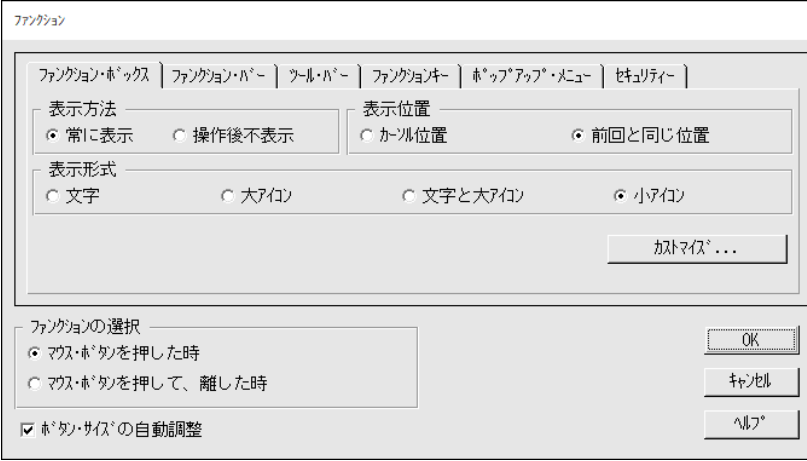
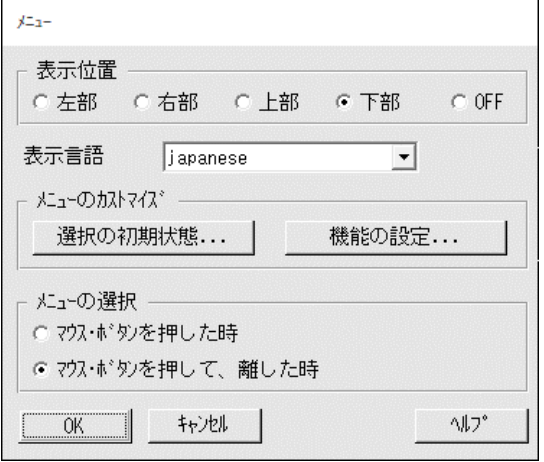
- タイル・キープ表示(K)
- タイル表示(T)
- カスケード表示(O)
- アイコン整列(A)
- 標準サイズ(O)
- ファンクション・ボックス(F)...
- スマートガイド・ボックス(S)...
- <ウィンドウ>ボックス(W)...
- メッセージ・ボックス(M)...
- レイヤー・ボックス(L)...
- 変数ボックス(V)...
- 線種ボックス(Y)...
- 1 >>>
- .
- ・ (図面ウィンドウのリスト)
- .
- 9

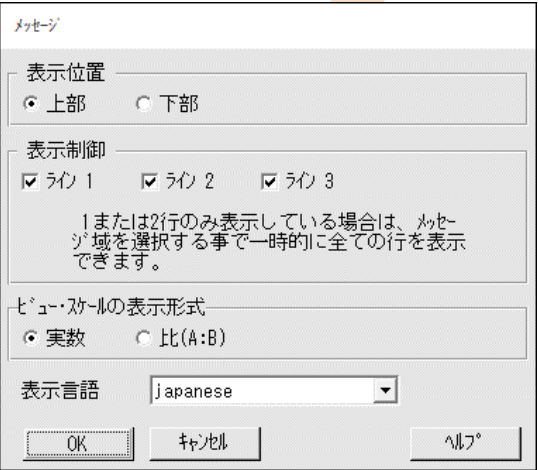


- カーソル(C)
 - ▶ 十字(C)
 - ▶ 全画面(F)
 - ▶ 小十字(S)
 - ▶ 矢印(A)
 - ▶ 小四角(Q)
 - ▶ プラットフォーム(P)
- マウス(M)...
- キーボード(K)...
- 図面選択(W)
 - ▶ シングルクリック(S)
 - ▶ ダブルクリック(D)
- スマートガイド(G)
- スマートハイライト(H)
- スマートストレッチ(S)
- スマートアシスト(A)
- スマートメニュー(P)
- ラバーバンド表示(B)
- 座標値表示(O)
- 配置子図要素選択(I)**
- ファンクション(F)...
- メニュー(N)...
- メッセージ(E)...
- 図面ウィンドウ(D)...
- New Look(J)...
- 文字入力方法(T)
 - ▶ 間接入力(T)
 - ▶ 同時入力(D)
 - ▶ 直接入力(Q)
 - ▶ 入力域(K)
- 環境設定再読み込み(L)
- 環境設定ファイル(S)...
- ユーザーボタン定義(B)...
- イベントスタック(V)
 - ▶ 実行(E)...
 - ▶ 直ちに実行(X)
 - ▶ 記録(R)...
- VBコード作成(X)



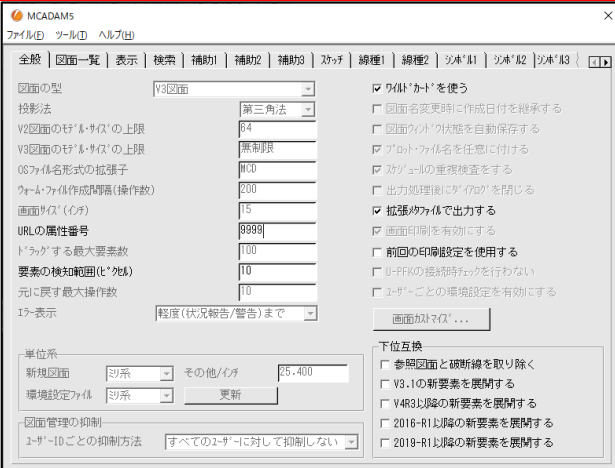
**今回解説
する範囲**

- オンライン・ヘルプ(O)...
- チュートリアル(T)...
- ヘルプ・ボックス(B)...
- ログ収集(S)...
- 起動状況(I)...
- バージョン情報(A)...

メニュー・バー [カスタマイズ] 編 Part2 解説

メインメニュー	サブメニュー	解説
① 配置子図要素選択(I)		<p>配置子図要素選択=ON/OFFにより、要素を選択する際に複合要素（配置子図、ユーザー・シンボル）を一つの塊として扱うか、複合要素を構成する個々の要素別に認識させるかを切り替えます</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [指定がONの場合] 配置子図またはユーザー・シンボル内の選択した構成要素が対象になる ● [指定がOFFの場合] 配置子図全体またはユーザー・シンボル全体として扱われる
② ファンクション(F)...		<p>「ファンクション」ダイアログが表示され、下記それぞれの表示位置や表示方法を編集できます</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ファンクション・ボックス ● ファンクション・バー ● ツール・バー ● ファンクションキー ● ポップアップ・メニュー ● セキュリティー 
③ メニュー(N)...		<p>「メニュー」ダイアログが表示され、メニュー表示位置や表示言語（日本語／英語）の切り替えなどを編集できます また、ファンクションを選択したときに最初に選択されているメニューの設定や、メニュー・ボタンに割り当てる機能や配列なども変更できます</p> 

メインメニュー	サブメニュー	解説
④ メッセージ(E)...		<p>「メッセージ」ダイアログが表示され、メッセージ表示位置や表示方法および表示言語（日本語／英語）の切り替えなどを編集できます</p> 
⑤ 図面ウィンドウ(D)...		<p>「図面ウィンドウ」ダイアログが表示され、図面ウィンドウに表示されるタイトルバー表示のON/OFF、タイル表示時のレイアウト方法などを設定できます</p> 
⑥ New Look(L)...		<p>「New Look」ダイアログが表示され、作業画面デザイン(アイコンやメニューの配置状態、図面の背景色、要素の無指定色)を変更できます</p> <ul style="list-style-type: none"> ●画面配置：オンにすると、アイコンやメニューの表示をコンパクトに設定した画面デザインで表示します ●図面色：オンにすると、図面の背景色を白、要素の無指定色を黒で表示します 

メインメニュー	サブメニュー	解説
文字入力方法(T)	間接入力(T)	<p>文字入力位置を指示すると「文字の入力」ダイアログが表示されます</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文字入力域に入力したのち、[書込]で図面に記入します 
	同時入力(D)	<p>文字入力位置を指示すると「文字の入力」ダイアログが表示されます</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文字入力域への入力と並行してビュー上に表示され、[書込]で図面に記入します (「文字の入力」ダイアログは間接入力と同じです)
	直接入力(O)	<p>文字入力位置を指示すると「文字の入力」ダイアログが表示されます</p> <ul style="list-style-type: none"> ●入力中の文字は文字入力域には表示されず、ビュー上にのみ表示されます 
	入力域(K)	「文字の入力」ダイアログは表示されず、入力した文字は画面最下端のキー入力域に表示され、Enterキーで図面に記入します
環境設定再読み込み(L)		環境設定ファイル「MCADAM5.SYS」の内容を読み込み、起動中のMC Helixに設定を反映します
環境設定ファイル(S)...		<p>環境設定ファイル「MCADAM5.SYS」のダイアログが開いて設定を変更できます</p> <p>MC Helix起動中に編集できないパラメータはロックがかかっています</p> 

⑦

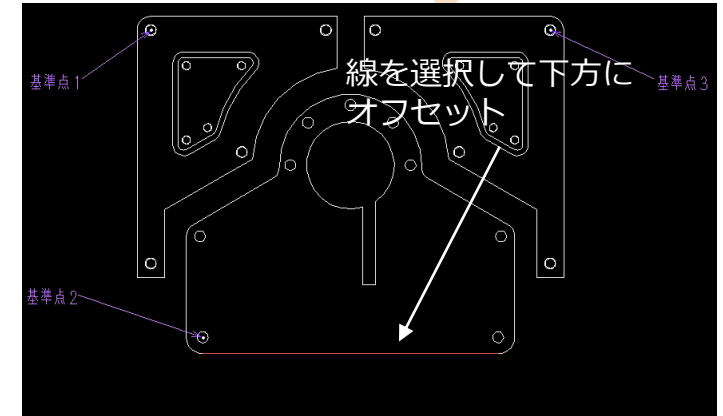
メニュー解説①：配置子図要素選択

● 配置子図またはユーザー・シンボルを選択したときの対象要素の扱い方を選択できます。

- 配置子図要素選択=ONの場合 [図1] [図2]
 - ✓ 選択した要素が独立した要素として認識されます。
- 配置子図要素選択=OFFの場合 [図3]
 - ✓ 配置子図、ユーザー・シンボルそれぞれが全体で一つの複合要素として認識されます。
- 選択対象となるのは以下の要素です。
 - ✓ 直線、マルチライン
 - ✓ 円（弧）、楕円（弧）
 - ✓ スプライン、円錐曲線、折れ線スプライン、オフセット・スプライン

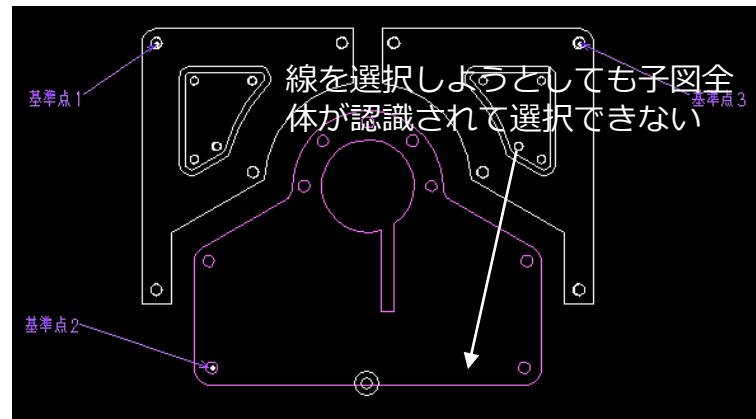
配置子図要素選択=ONの場合

[図1]

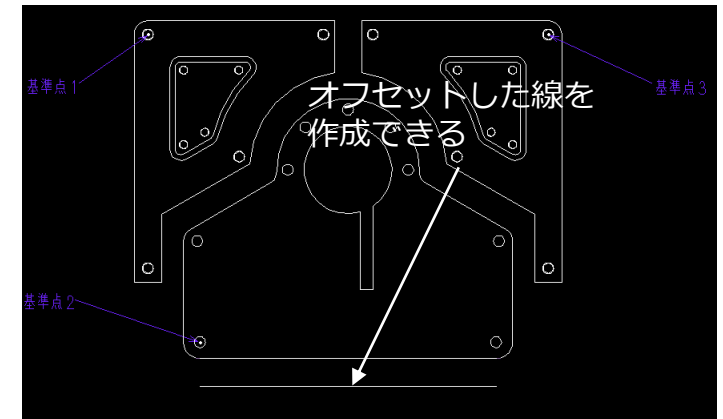


配置子図要素選択=OFFの場合

[図3]



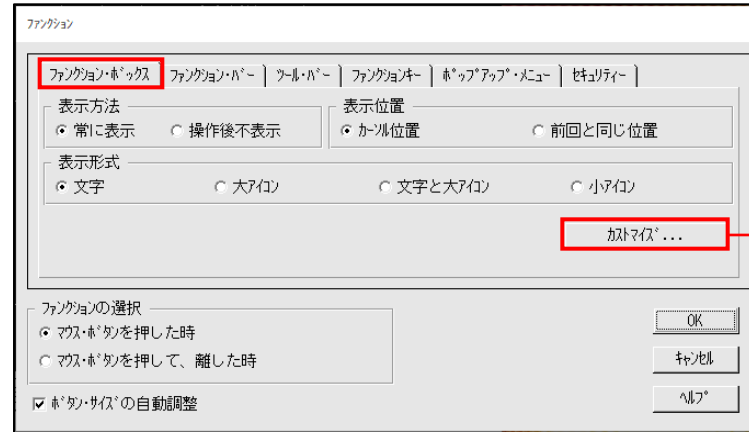
[図2]



● [ファンクション・ボックス]

- ファンクション・ボックスの表示方法を変更できます。

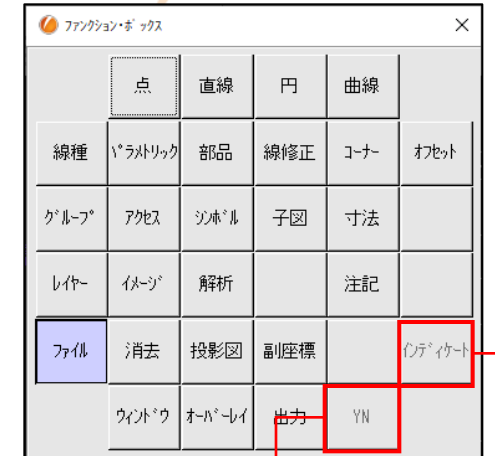
[ファンクション] ダイアログ



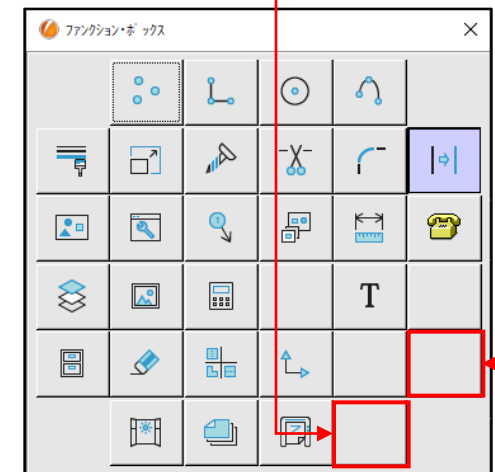
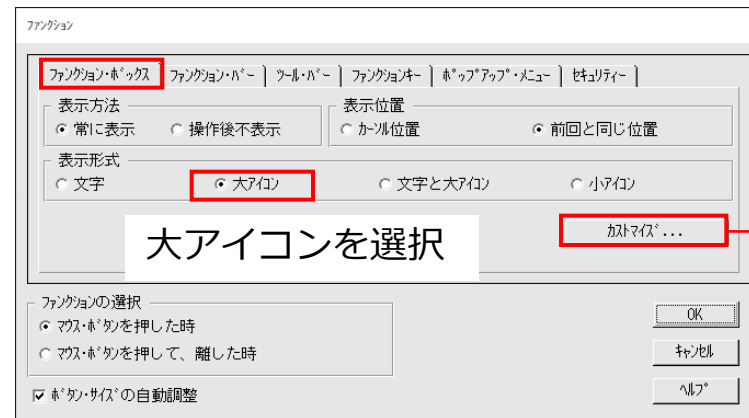
[ファンクション・ボックスの設定]



[ファンクション・ボックス]



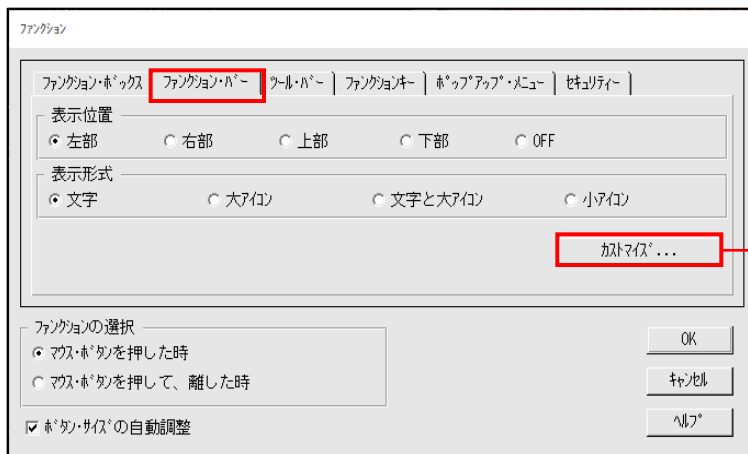
➤ 設定例



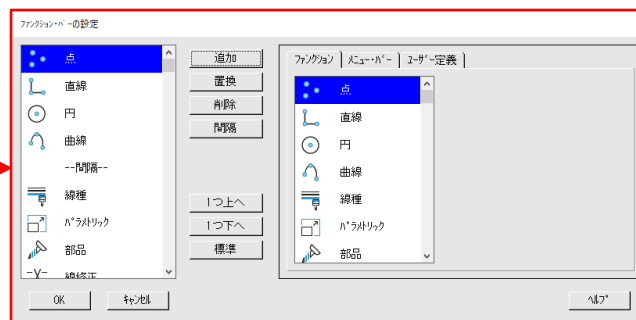
● [ファンクション・バー]

- ファンクション・バーの表示位置や表示方法を変更できます。

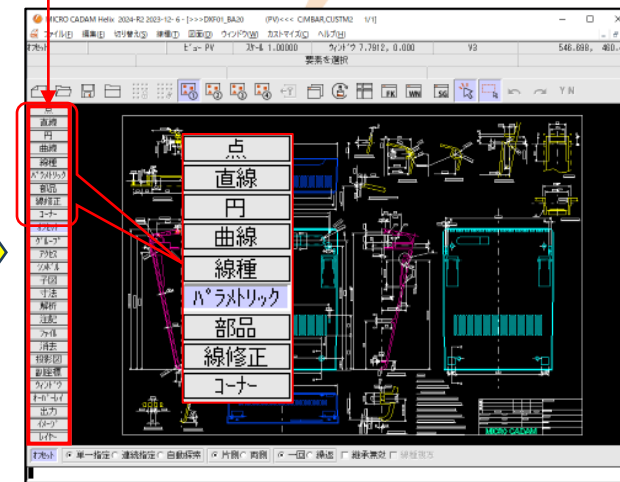
[ファンクション] ダイアログ



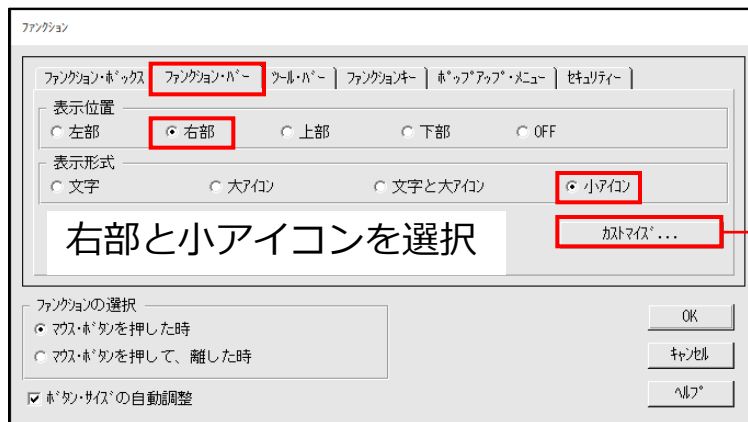
[ファンクション・バーの設定]



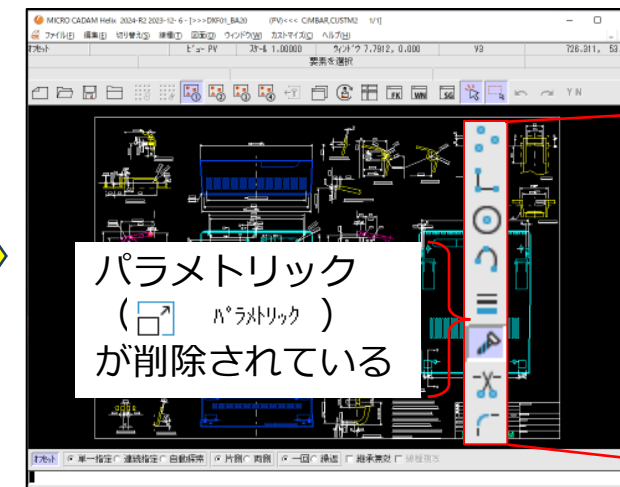
ファンクション・バー



➤ 設定例



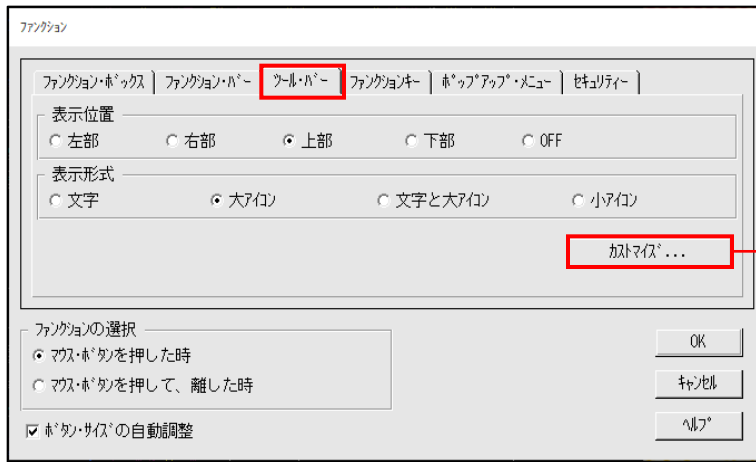
パラメトリックを削除



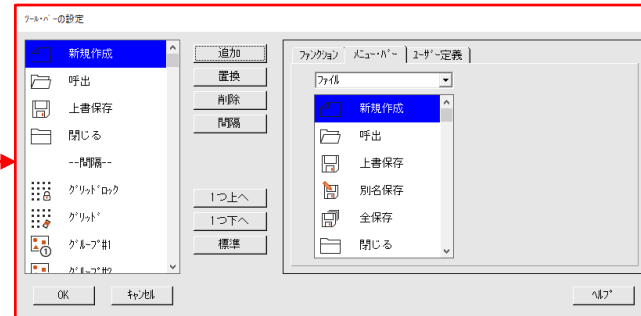
● [ツール・バー]

- ツール・バーの表示位置や表示方法を変更できます。

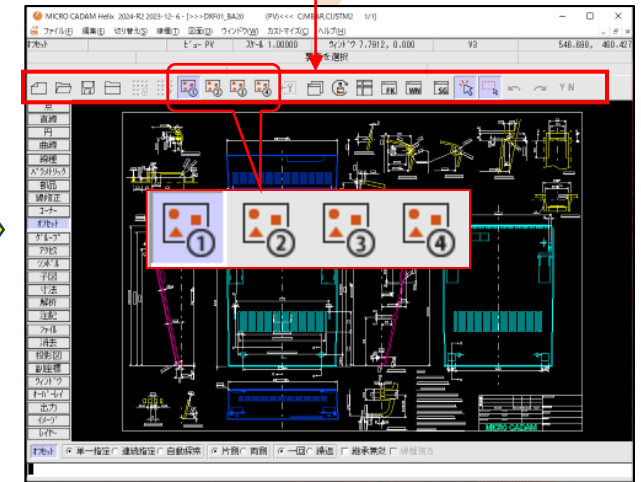
[ファンクション] ダイアログ



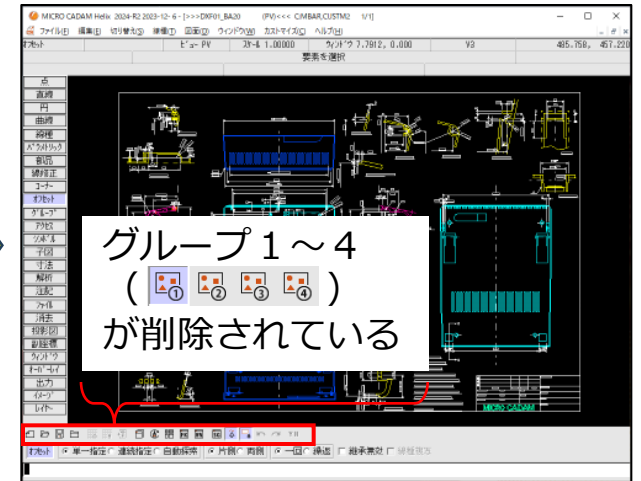
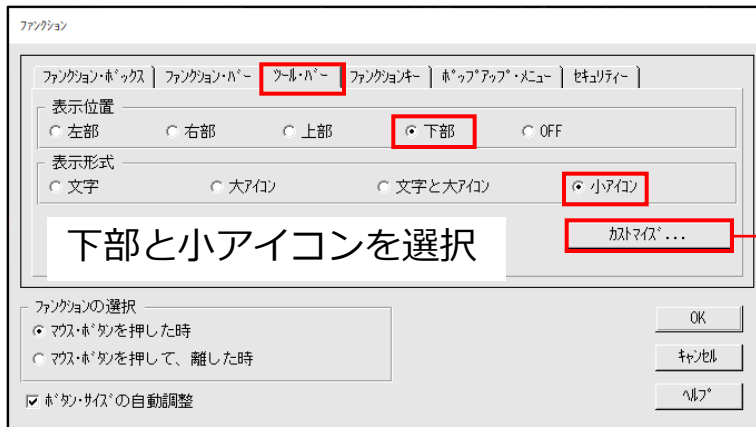
[ツール・バーの設定]



ツール・バー



➤ 設定例



メニュー解説②：ファンクション（4/6）

● [ファンクションキー]

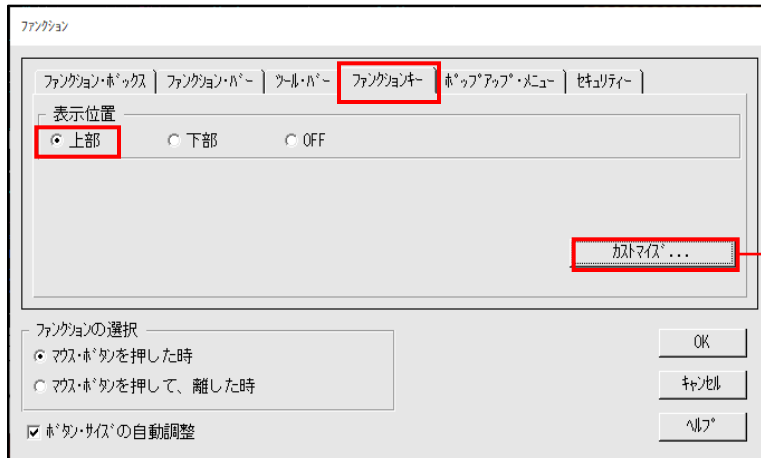
➤ キーボードのファンクションキーに設定した機能の表示位置を指定できます。また、ファンクションキーおよび、ファンクションキーと修飾キーの組み合わせに対する機能の割り当てや変更が可能です。

➤ デフォルト設定

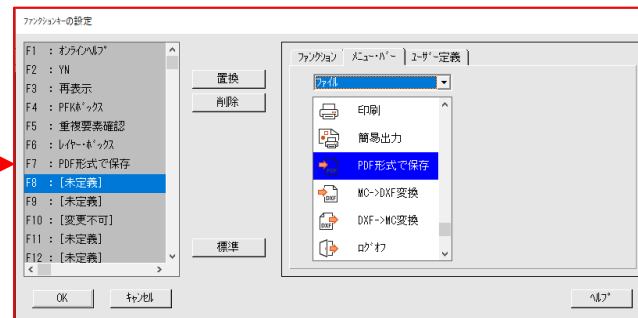
- ✓ F1キー=オンラインヘルプ
- ✓ F2キー=YN
- ✓ F3キー=再表示
- ✓ F4キー=PFKボックス（ファンクション・ボックス）
- ✓ F5キー=重複要素確認
- ✓ F6キー=レイヤー・ボックス

➤ 設定例

[ファンクション] ダイアログ

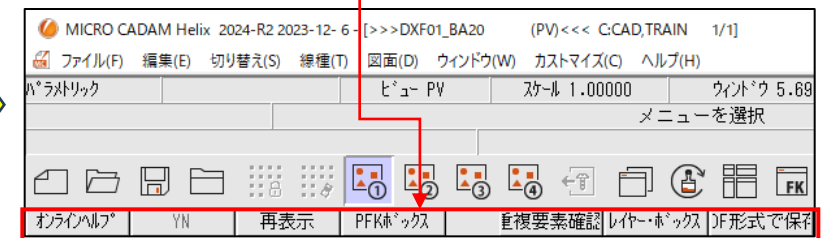


[ファンクションキーの設定]



F7にPDF形式で保存を追加

ファンクションキー



F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7

F7に「PDF形式で保存」が追加されている

設定できないファンクションキーの組み合わせにはあらかじめ
[変更不可] になっています。

PCによっては [FnLock] をONにすることでファンクションキー
が有効になります。

● [ポップアップ・メニュー]

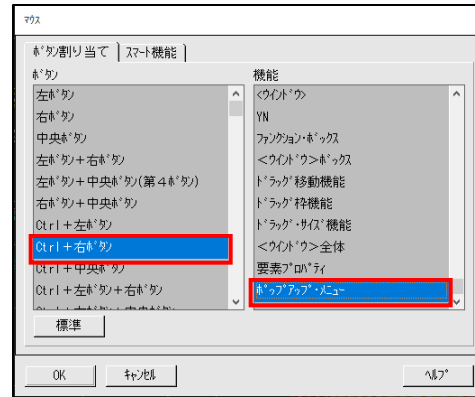
➤ マウスにポップアップ・メニューを設定することで、ファンクションやメニューをポップ・アップメニューとして表示できます。

✓ 表示するファンクションやメニューの編集や追加、削除なども可能です。

➤ 環境設定

✓ メニュー・バー [カスタマイズ]
→ [マウス] で「ポップアップ・メニュー」を設定すると利用できます。

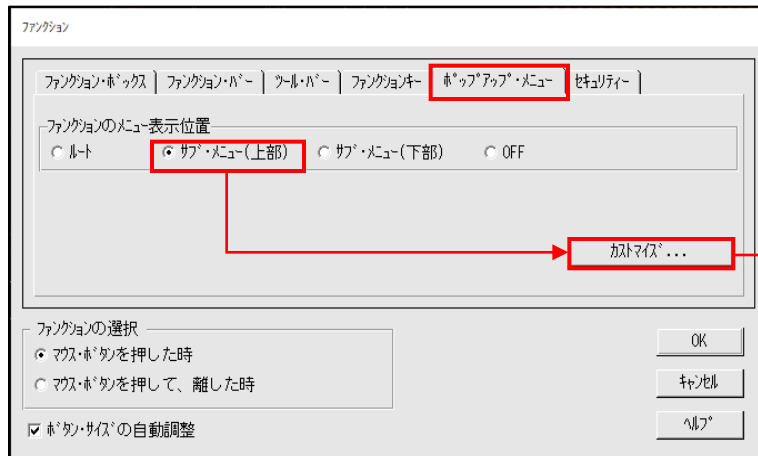
(例) Ctrl+右ボタンに設定



ポップアップ・メニュー

➤ 設定例

[ファンクション] ダイアログ

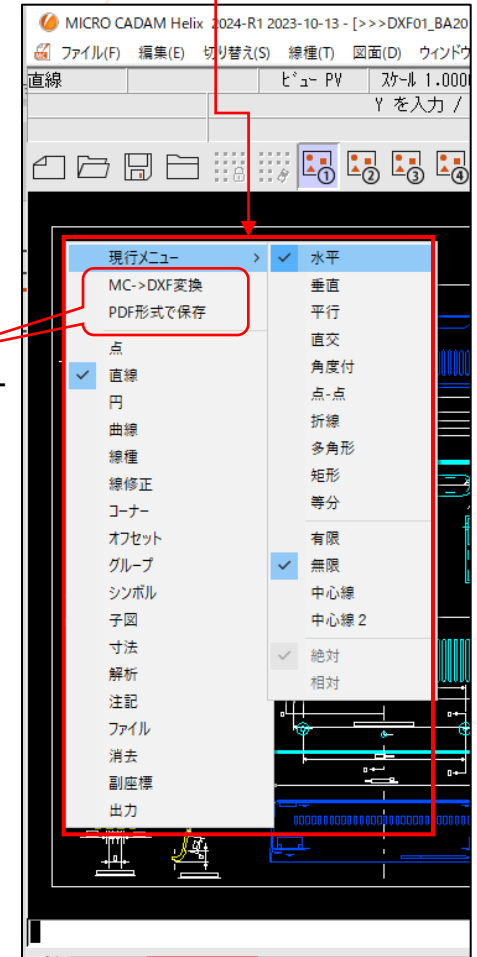


[ポップアップ・メニューの設定]



サブ・メニューに「MC>DXF変換」と「PDF形式で保存」を追加

サブ・メニュー表示



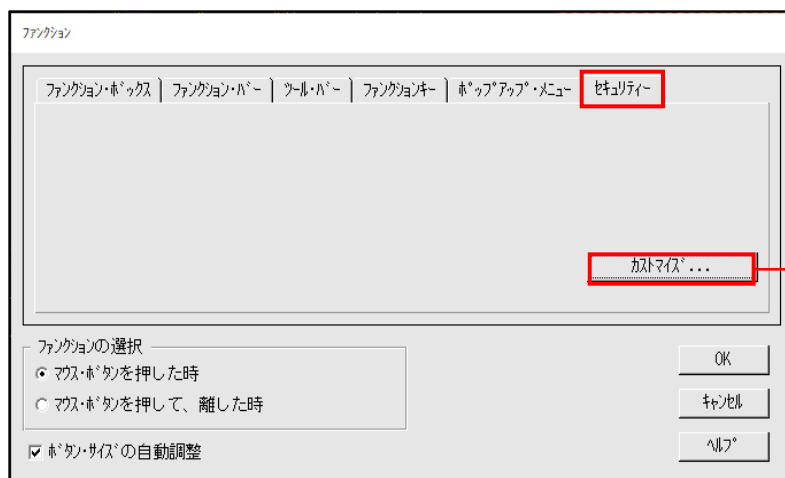
● [セキュリティ]

➤ メニュー・バーの使用制限に関する設定を行います。

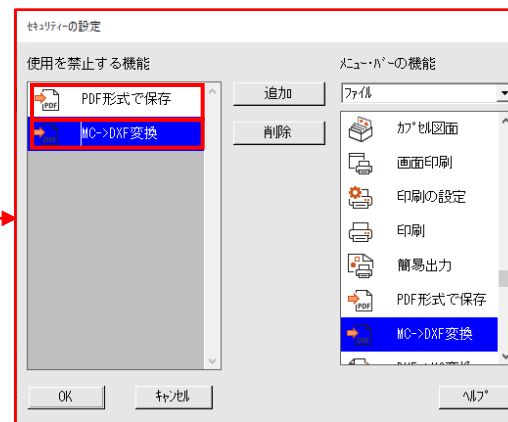
このシートはマスター・ユーザーIDでログインしている場合のみ表示されます。詳細については運用管理者にお尋ねください。

➤ 設定例

[ファンクション] ダイアログ



[セキュリティの設定]



「MC>DXF変換」と「PDF形式で保存」を禁止する

指定した機能がグレーアウトする



このセキュリティ機能は、サーバー/クライアント環境において、集中管理された環境下での運用を想定しています。集中管理機能を含めたMICRO CADAM Helixのセキュリティ機能の概要については、下記URLの資料を参照ください。

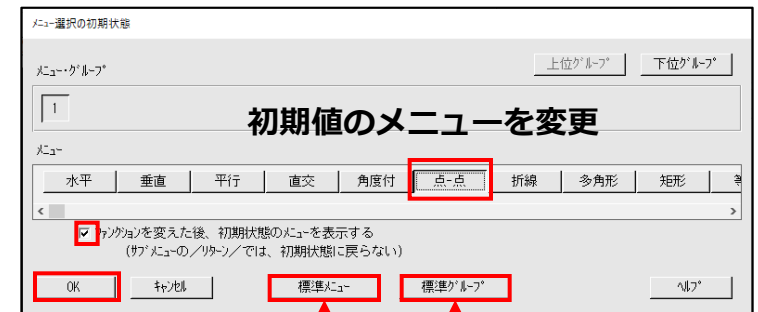
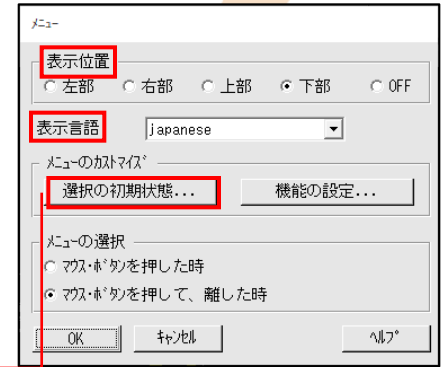
https://www.cad-solutions.co.jp/wp-content/uploads/mcsecurity_bro_r0.pdf

具体的な環境設定の方法につきましては、『セキュリティ管理解説書』の「3.4 メニュー・バーの使用制限の設定」を参照ください。下記URLからダウンロードできます。（管理者様、副管理者様に提供されているアクセスID/PWが必要です）

<https://support.cad-solutions.co.jp/document/001130>

メニュー解説③：メニュー（1/3）

- [表示位置]
 - メニューの表示位置を変更できます。
- [表示言語]
 - 日本語／英語表記の切り替えができます。
- [選択の初期状態]：「メニュー選択の初期状態」ダイアログ
 - ファンクション選択時に最初に選択されているメニューを指定できます。
 - ✓ メニューの選択は、メニューの階層ごとにグループ化されています。
 - ✓ 同一階層以外に、メニューの機能別でもグループ化されています。
 - 設定方法（FK<直線>で最初に【点-点】が選択されるようにする）
 1. FK<直線>を選択
 2. メニュー・バー [カスタマイズ] → [メニュー] を選択
 3. 「選択の初期状態」を選択
 4. 「上位グループ」を選択（第一メニューを表示する）
 5. メニュー選択の初期値【水平】を【点-点】に変更
 6. [☐ファンクションを変えた後、初期状態を表示する] にチェック
 7. [OK]
 8. 他のFKからFK<直線>を選択するとメニュー【点-点】が選択されている



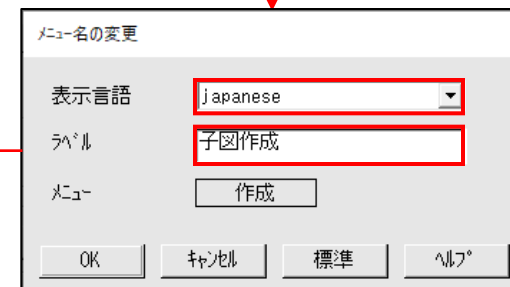
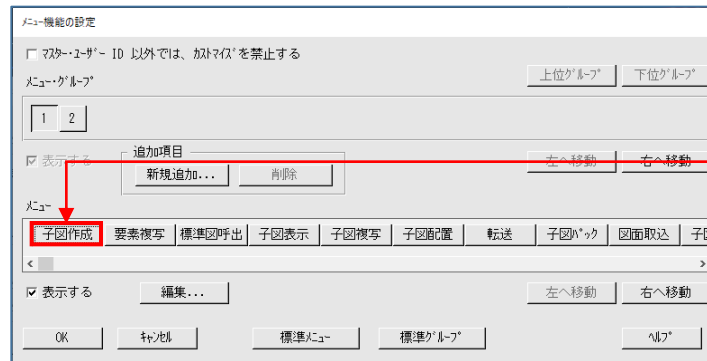
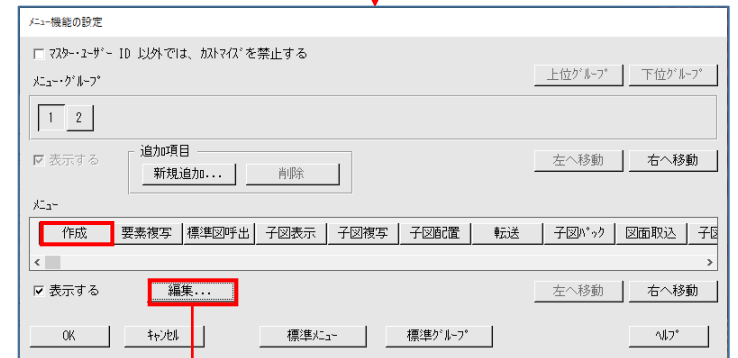
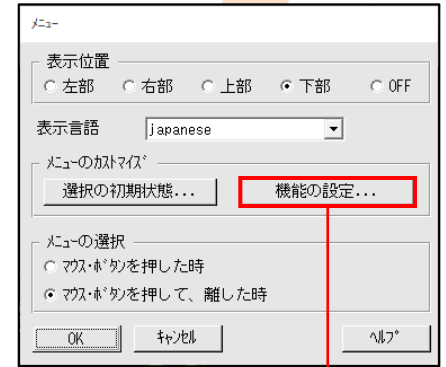
個々のメニュー単位で初期値に戻す場合に使用します。

メニュー・グループごと初期値に戻す場合に使用します。

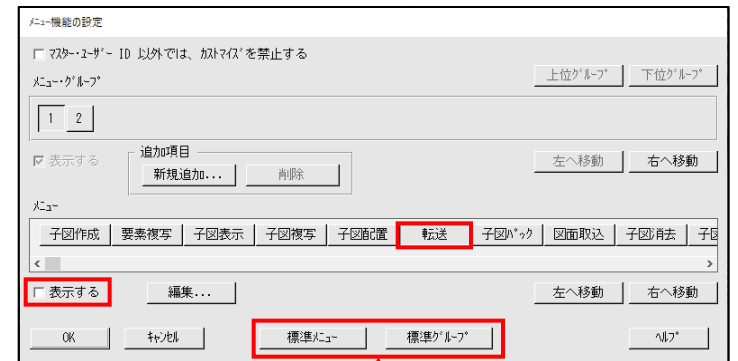
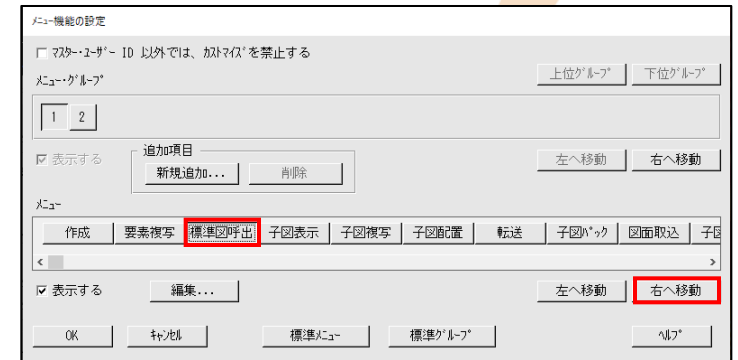
メニュー解説③：メニュー（2/3）

- [機能の設定]：「メニュー機能の設定」ダイアログ
 - 既存メニューの位置変更や、任意のメニューの追加ができます。
 - ✓ メニューの表示言語やメニュー名も変更できます。
 - 設定方法（FK<子図>のメニュー名を変更する）
 1. FK<子図>を選択
 2. メニュー・バー [カスタマイズ] → [メニュー]
 3. 「機能の設定」を選択
 - ⇒メニュー欄の【作成】が選択されている
 4. 「編集」
 - ⇒「メニューの変更」ダイアログが表示される
 5. 「表示言語」を“Japanese”に変更
 6. 「ラベル」に“子図作成”と入力→OK

文字数は2バイト文字で5文字まで設定できます。



- 設定方法（FK<子図>のメニューを移動する）
 1. メニュー欄の【標準図呼出】を選択
 2. [右へ移動] を10回選択
⇒メニューの右端に移動する
- 設定方法（FK<子図>のメニューを非表示にする）
 1. メニュー欄の【転送】を選択
 2. 「表示する」のチェックを外す
 3. [OK]



【編集結果】

非表示

作成 要素複写 標準図呼出 子図表示 子図複写 子図配置 **転送** 子図ハック 図面取込 子図消去 子図編集 編集終了 再配置 リスト

↓

名称変更 **表示位置移動**

子図作成 要素複写 子図表示 子図複写 子図配置 子図ハック 図面取込 子図消去 子図編集 編集終了 再配置 **標準図呼出** リスト

(注) メニュー【再配置】は第1グループ、【リスト】は第2グループのため、【標準図呼出】は【再配置】の右側に表示されています。

- [標準メニュー]
編集したメニューを初期状態に戻します。
- [標準グループ]
編集したメニュー・グループのすべてのメニュー・ボタンを初期状態に戻します。

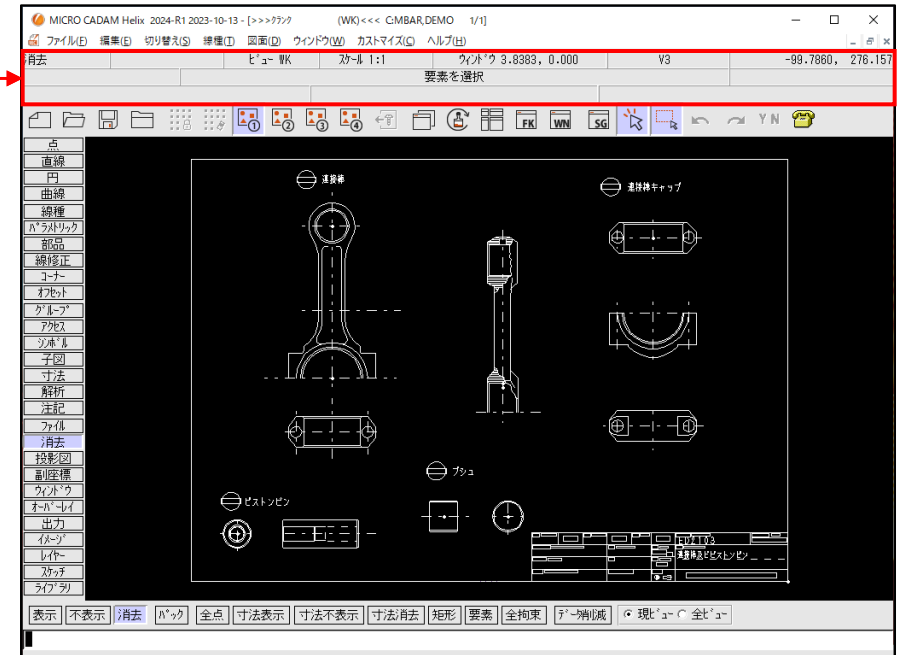
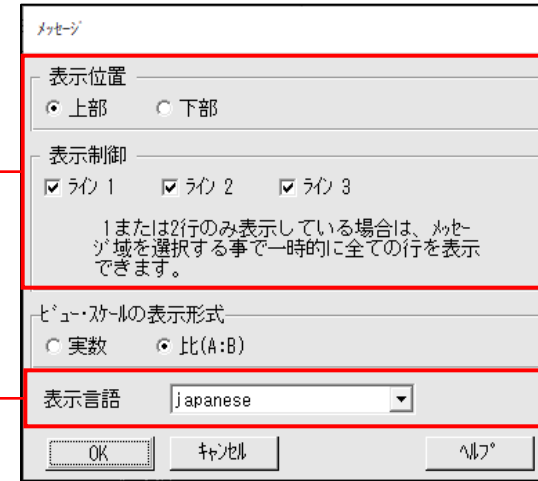
メニュー解説④：メッセージ

- [表示位置]
 - メッセージの表示位置を変更できます。
- [表示制御]
 - メッセージ域に表示される情報を制御できます。
- ビュースケールの表示形式
 - 以下のように表記されます。

実数	比(A:B)
1.00000	1:1
0.70000	1:1.4
20.0000	20:1

- [表示言語]
 - 日本語／英語表記の切り替えができます。

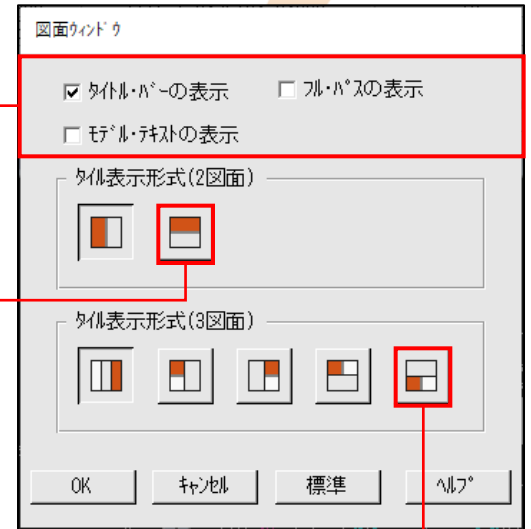
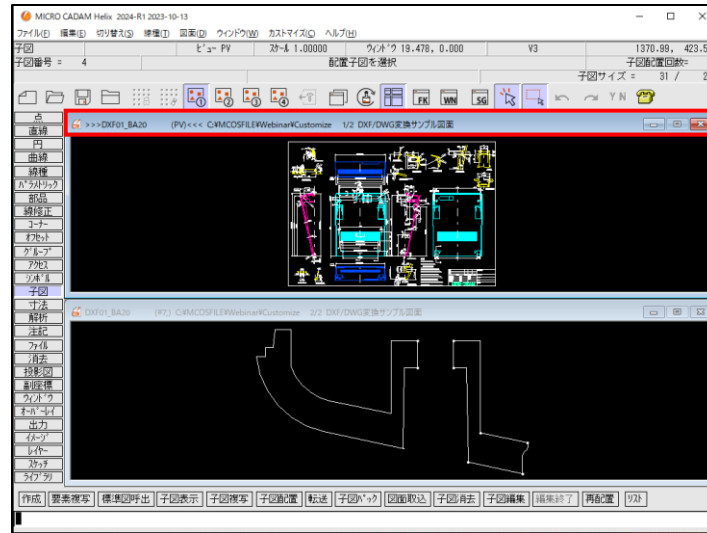
メッセージ



メニュー解説⑤：図面ウィンドウ

● タイトル・バー表示方法の指定

- タイル表示時のウィンドウ枠にタイトル・バーを表示する・しないを設定します。
- モデル・テキスト（注釈）の表示が可能です。
- OSファイル名形式図面の保存先のホスト名を含むフル・パスを表示できます。
 - ✓ [フル・パスの表示] の場合
 - ホスト名を含みパスが32バイトを超える場合に省略形式で表示します。
 - ✓ [フル・パスの表示] の場合
 - タイトル・バーに表示できる文字数を超えると、それ以降は省略して表示されます。

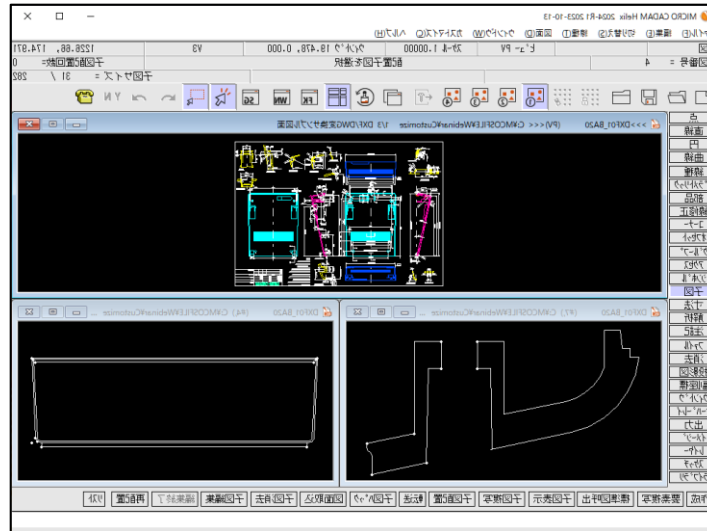


● [タイル表示形式(2図面)]

- 縦2分割か横2分割を選択できます。

● [タイル表示形式(3図面)]

- 5種類の表示方法の中から選択できます。



● New Lookダイアログ

➤ [画面配置]

✓ MICRO CADAM Helixの画面を以下の配置で表示します。

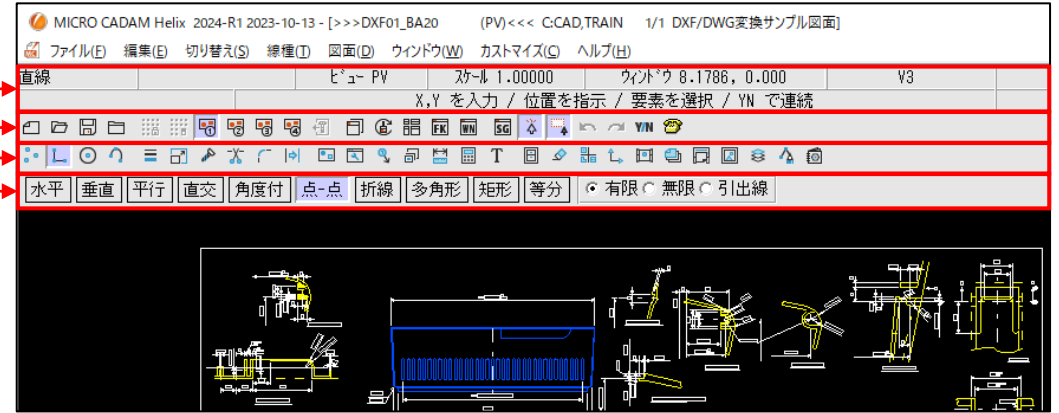


メッセージ域 : ライン 1 と 2 まで表示

ツール・バー : 小アイコンで表示

ファンクション・バー : 小アイコンで表示

メニュー域 : 文字で表示

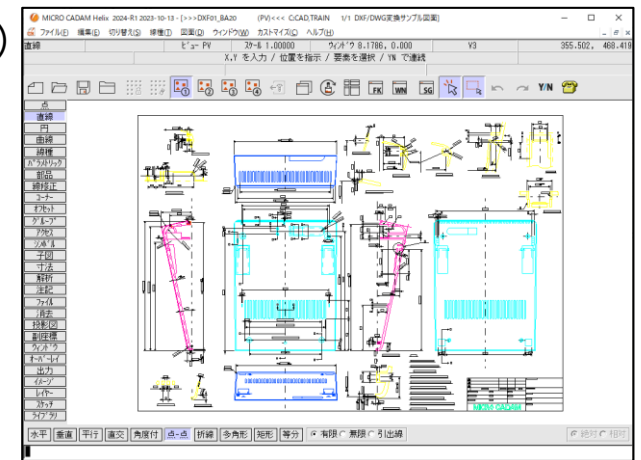


➤ [図面色]

✓ デフォルトの無指定色 (白) と背景色 (黒) が入れ替わります。
(メニュー・バー [線種] → [システム・カラー] 参照)



(表示例)



● [環境設定ファイル]

- 環境設定ファイル「MCADAM5.SYS」のダイアログが開き、各種設定を変更できます。
- MICRO CADAM Helix起動中でも設定変更可能なパラメータは強調色で表示されています。
- 強調色で表示されているパラメータには、MCADAM5.SYSファイルをエディターで開くと先頭に“#”が付加されています。（下図参照）

The image displays the MCADAM5 environment settings dialog box in the center, surrounded by three text editors showing the corresponding parameter files. Red boxes and arrows highlight specific settings and their corresponding file entries.

MCADAM5 Dialog Settings:

- 全般 (General) tab selected.
- 図面の型 (Drawing Type): V3図面 (V3 Drawing)
- 投影法 (Projection): 第三角法 (Third Angle Projection)
- 図面名変更時に作成日付を継承する (Inherit creation date when changing drawing name):
- 図面ウィンドウ状態を自動保存する (Automatically save drawing window status):
- プロットファイル名を任意に付ける (Optionally assign plot file name):
- スケジュールの重複検査をする (Check for duplicate schedules):
- 出力処理後に「イテラ」を閉じる (Close 'Itera' after output processing):
- 拡張ファイルで出力する (Output to extended file):
- 画面印刷を有効にする (Enable screen printing):
- 前回の印刷設定を使用する (Use previous printing settings):
- U-PFKの接続時チェックを行わない (Do not check U-PFK connection):
- ユーザーごとの環境設定を有効にする (Enable user-specific environment settings):
- 画面カスタマイズ (Customize screen): 画面カスタマイズ...
- 下位互換 (Backward Compatibility):
 - 参照図面と破断線を取り除く (Remove reference drawings and break lines):
 - V3.1の新要素を展開する (Expand new features in V3.1):
 - V4R3以降の新要素を展開する (Expand new features from V4R3 onwards):
 - 2016-R1以降の新要素を展開する (Expand new features from 2016-R1 onwards):
 - 2019-R1以降の新要素を展開する (Expand new features from 2019-R1 onwards):

Text Editor 1 (MCADAM5.SYS - メモ帳):

```
DWFFLEX =
#NDFLST = 2A,1-20
#DRWFLD = YES
DTLPRV = YES
AUTOPRV = NO
```

Text Editor 2 (MCADAM5.SYS - メモ帳):

```
#SKARCRAD = 2
VMENU = YES
#URLATR = 3999
#DUPMAX = 500
#ANGDEG = 0,0
```

Text Editor 3 (MCADAM5.SYS - メモ帳):

```
V2SIZE = 64
V3SIZE =
#PCKSTZ = 10
#BOXSPC = 1
TWCTYP = 1
```

Text Editor 4 (MCADAM5.SYS - メモ帳):

```
#CLDMTX = NO
AUTRSM = NO
#ENHMET = YES
V3UPDT = NO
UNITS = 3,3,25.400
```

Text Editor 5 (MCADAM5.SYS - メモ帳):

```
#WCRMD = 1,2,3
BUFRPB = YES
PRINTDEF = 1
#ISAVD = NO
BNSAR = WINDOW
```

Text Editor 6 (MCADAM5.SYS - メモ帳):

```
#V31230 = NO
#V43240 = NO
#R2016252 = NO
#R2019252 = NO
#V2CVRM = NO
```

● [環境設定再読み込み]

➤ 環境設定ファイル「MCADAM5.SYS」の内容を読み込み、起動中のMC Helixに設定を反映させる機能です。

【変更内容を反映するし方法について】

メニュー・バー [カスタマイズ] → [環境設定ファイル] で変更した内容を起動中のMC Helixに反映させる場合、パラメータによって反映されるタイミングが異なります。

(1) MCADAM5.SYSダイアログの [ファイル] → [保存] → [終了] で、表示中の図面にすぐに反映される場合。

(例) 「寸法1」 “寸法補助線の間隙”や“先端形状”の丸印の半径など

(2) MCADAM5.SYSダイアログの [ファイル] → [保存] → [終了] の後に、新規に作成する要素から反映される場合。

(例) 「寸法1」 “先端形状”の寸法線（作成時）など

(3) メニュー・バー [カスタマイズ] → [環境設定再読み込み] で反映される場合。

(例) 「全般」 “要素の検知版に(ピクセル)”など

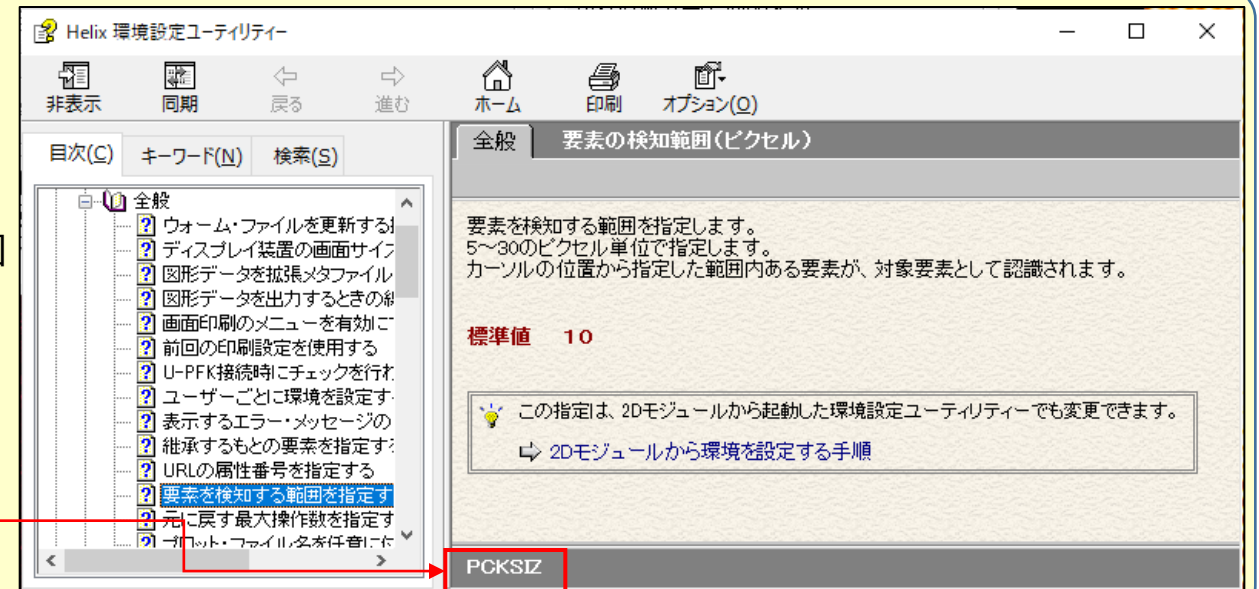
【各項目のパラメータ名確認方法】

環境設定ユーティリティを起動し、確認したい項目をマウスで選択して [ヘルプ] → [項目に関して] で確認できます。

(例)

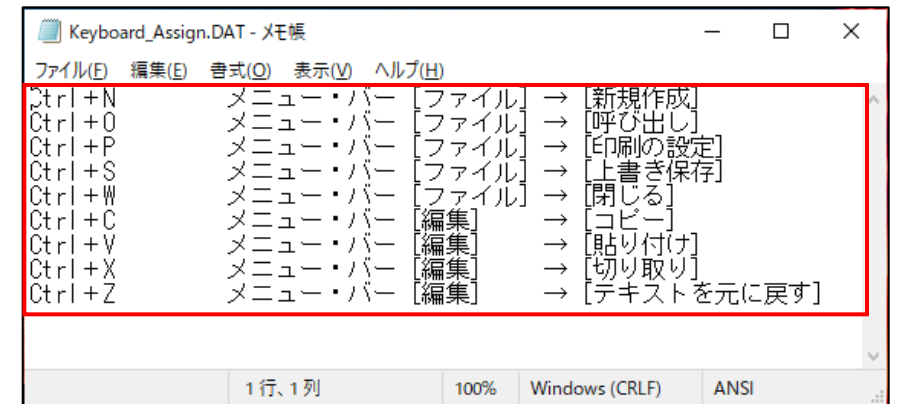
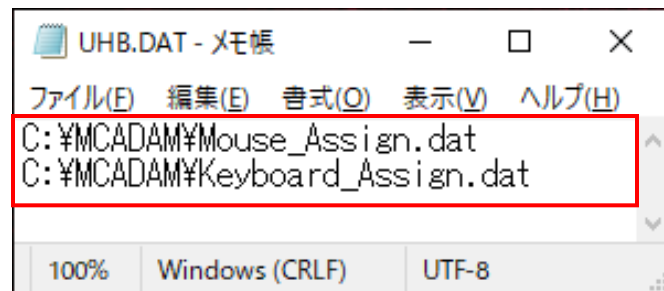
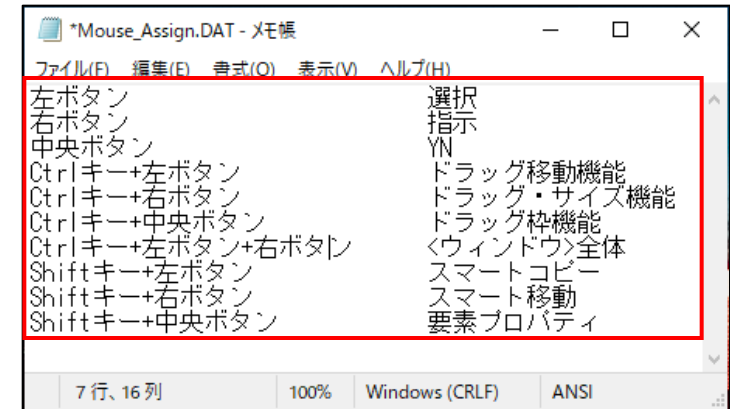
1. MCADAM5ダイアログの [全般] → “要素の検知範囲 (ピクセル)”の入力欄を選択
2. [ヘルプ] → [項目に関して]
3. 指定した項目のヘルプが表示される (右図)

パラメータ名



参考 (1/2) : マウスやキーボードに割り付けた機能を一覧表示する方法

- ユーザー・ヘルプ・ボックス機能を利用してマウスやキーボードに割り付けた機能一覧を表示することができます。
- テキスト・ファイルの作成
 - マウスやキーボードに割り付けた内容を記述したテキスト・ファイル (~.DAT) 作成します。
 - 作成例 (右図参照)
 - ✓ マウス用 : Mouse_Assign.DAT
 - ✓ キーボード用 : Keyboard_Assign.DAT
 - 保存先 (システムドライブがCドライブの場合)
 - ✓ C:¥MCADAM
- ユーザー・ヘルプ・ボックスのインデックス・ファイルの編集
 - ファイル名 (システムドライブがCドライブの場合)
 - ✓ C:¥MCADAM¥UHB.DAT
 - 編集内容 (下図参照)

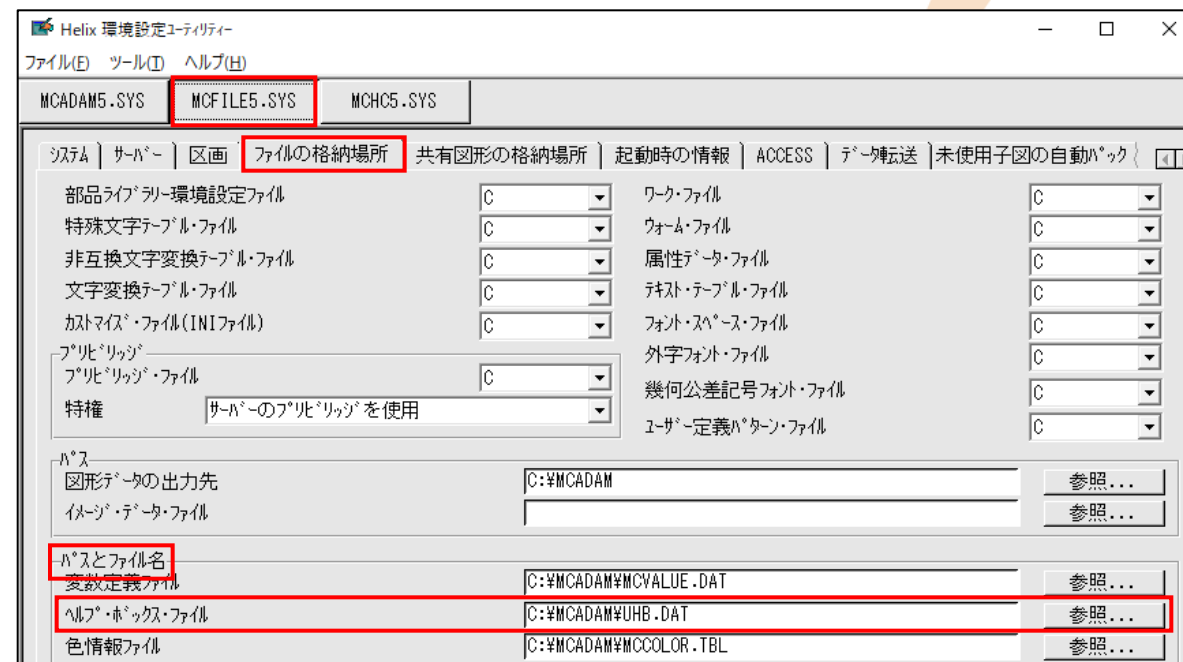


● 環境設定

➤ 環境設定ファイル (MCFILE5.SYS)

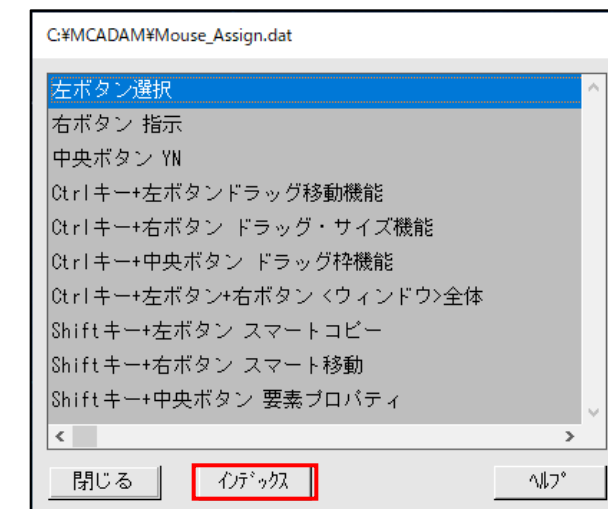
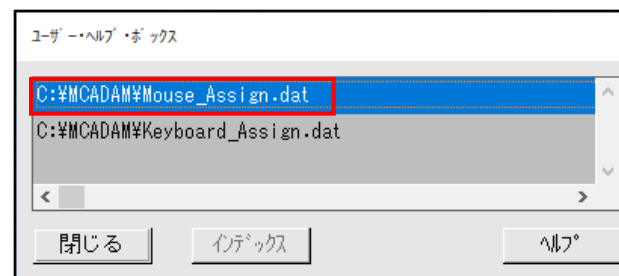
- ✓ 「ファイルの格納場所」 → 「パスとファイル名」 → 「ヘルプ・ボックス・ファイル」 に、デフォルトではインデックス・ファイル (UHB.DAT) のファイル・パスが記載されています。

デフォルトの保存先はC:\%MCADAMですが、[参照] でパスを指定すれば保存先を変更することができます。



● 操作例

- メニュー・バー [ヘルプ] → [ヘルプ・ボックス] ⇒ 「ユーザー・ヘルプ・ボックス」ダイアログが表示されます (右図参照)。
- “C:\%MCADAM\%Mouse_Assign.dat”を選択 ⇒ 設定内容が表示される。
- [インデックス] を選択 ⇒ インデックスのページに戻る



まとめ (1/2) : メニューバー [カスタマイズ] 編 Part2

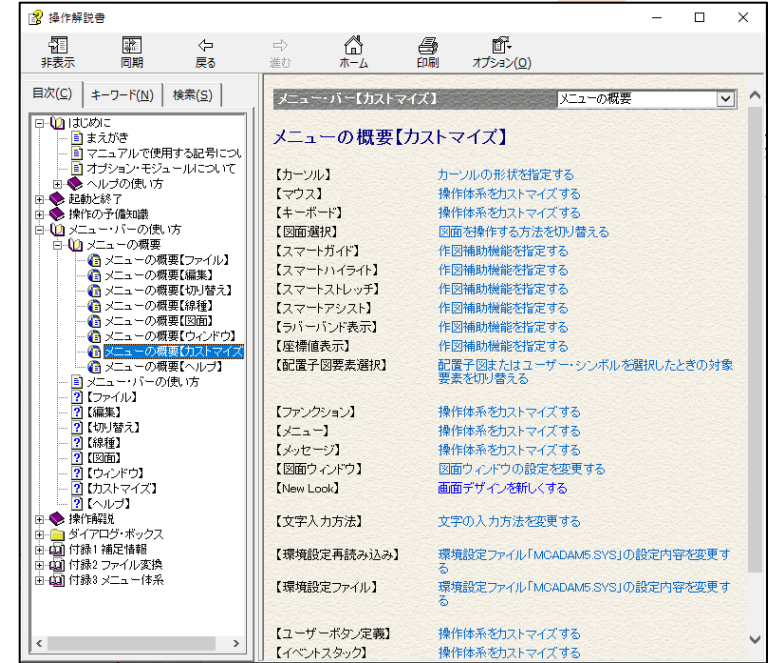
詳細につきましては下記のコンテンツも合わせてご利用ください。

● 参照マニュアル：操作解説書

- Windows [スタート] → [MICRO CADAM Helix] → 「操作解説書」
→メニュー・バーの使い方→メニューの概要
→メニューの概要【カスタマイズ】

● 参照マニュアル：カスタマイズ・ガイド

- マニュアルをダウンロードできます
- 1. CAD'S SUPPORT DESKにログインする
<https://support.cad-solutions.co.jp/>
ログインには、事前にMCHS契約の管理者または副管理者の登録が必要です。
- 2. [ダウンロード] → [MICRO CADAM Helix製品] → [マニュアル] → 「オンライン・マニュアル 最新版」を選択
- 3. [オンライン・マニュアル 最新版] → 「Manual_MCH_2024-R2.zip」を選択
- 4. 「ダウンロード」フォルダ→zipファイルを展開する
- 5. ファイル名：MCCUSTOMIZE.PDFを開く（右図参照）



- はじめに
- 第1章 カスタマイズについて
- 第2章 マウス
- 第3章 キーボード・ショートカット
- 第4章 ファンクション
- 第5章 メニュー
- 第6章 メッセージ
- 第7章 ユーザー・ボタン定義
- 第8章 イベント・スタック

まとめ (2/2) : メニューバー [カスタマイズ] 編 Part2

● おすすめ動画コンテンツ

過去にお届けしたWebセミナーの動画です。

こちらにもいくつかメニュー・バーに関するご紹介がありますので、ぜひご覧ください。

- [MICRO CADAM Helix 2021新機能のご紹介](#)
- [MICRO CADAM Helix これまでの拡張機能のご紹介 Part2](#)

MICRO CADAM Helix 2021R1

新GUI対応

ポップアップ・メニュー

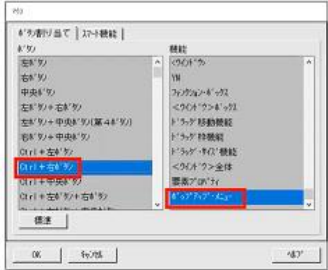
■ 概要


▶メニューバーやツールバーに登録したイベントスタック機能など、使用頻度の高い機能を、マウスの手元操作で選択できるようになりました。

■ 機能/環境設定

▶メニューバー [カスタマイズ] → [ファンクション] から、「ポップアップ・メニュー」タブの [カスタマイズ] で設定できます。

【マウスのカスタマイズ例】





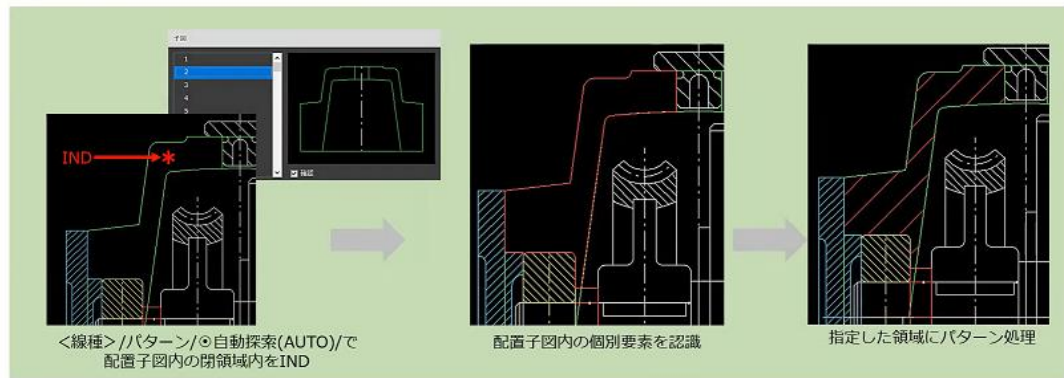
3) [配置子図要素選択]モードの利用



③境界要素に配置子図の要素を使用 2018-R1

配置子図内の個別要素をFK <解析(ANALYSIS)> /断面特性(SECTION)/、FK <線種(TYPE)> /パターン(AREAFILL)/の境界定義に利用可能です。

・配置子図内の個別要素(直線、折線、円・円弧、曲線)を選択すると、その要素が選択されたものとみなし、境界定義の要素として利用可能です。(ネストされた配置子図も同様)





MICRO CADAM、MICRO CADAM Helix は、株式会社CAD SOLUTIONSの商標です。
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。